卓越した技術者（現代の名工）（2016年度）

第1部門（金属材料製造の職業）

石垣 雄二 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

入社以来、溶鋳炉に供給する焼結鋳の製造に従事している。電気集塵装置のダスト回収装置の開発にあたっては、問題解決のためガス清掃装置の稼働中にダストを連続的に回収できる装置を考案し、操業安定化・環境汚染防止に大きく貢献した。また、工場の安全専門委員として、ベテラン・若手に対する安全指導を行うほか、現場設備でリスクの高いベルトコンベア安全対策にも積極的に取り組んでいる。

時松 元信 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

入社以来、製鋼工程の連続鋳造業務に従事している。連続鋳造の自動化技術開発にあたっては、鋳造スタートから終了までの100%を自動制御にしたことにより、エネルギー使用量を90%削減し、操業安定化・生産性向上・品質改善に大きく貢献した。また、若手オペレーターが短期間で実操作することを可能にするため、作業用シミュレーターの開発を行うなど、後進の育成にも貢献している。

安田 信一 (株)神戸製鋼所 真岡製造所

アルミ板製造工程の溶解工程に長年従事し、直接目で確認することができない溶融炉内の状態を長年培われた知識や経験から、正確に把握し的確に管理することができる。このことにより、従来不可能と言われていた、695℃から705℃という低温かつ僅か10℃という幅での正確な炉内の温度管理を可能にすることで、アルミ板の鋳塊品質異常の一つである縦の木組織異常を撲滅し、所全体の生産性の向上に多大な貢献を果たしている。

中村 哲次郎 (株)神戸製鋼所 高砂製作所

世界最大級の力量を有する13,000トン自由鍛造プレスオペレーターとして、100トンを超える製品をミリ単位の寸法精度で鍛造する卓越した技能を有し、主に船舶用のディーゼルエンジンの組立型クランク軸や舵取り装置の一部である弓型ラダーストックといった部品の製造を担当した。現在は、大型鍛鋼品製造部門の係長として品質・コスト・安全の改善業務に携わりつつ、自らの技能を次世代に継承すべく若手育成にも尽力している。

平井 正則 新日鐵住金(株) 大分製鐵所

厚板工場ロール整備業務に長年従事し、ロール表面の損傷状態を目視や非破壊検査により適切に把握し、必要最小限の研削量で健全な状態にする技能を有している。国内最大級のロールを35年使用し続け、世界で初めてロールの使用限界まで使い切るという偉業を達成した。また、自身の技能を技量マップに整理し、個々人の技量に応じた育成プログラムを作成する等、後進の育成にも貢献している。

浅田 義彦 (株)神戸製鋼所 高砂製作所

電気炉製鋼の溶解・精錬および造塊作業に 35 年の長きにわたり従事し、高度な製鋼技能を有している。その技能により、溶解作業では、炉前での防熱板を利用した暑熱作業の改善、また、その下注ぎ造塊作業では治具を用いた注入管内部の継ぎ目チェック方法の改善により漏鋼を防止するなど、多くの改善を行ってきた。現在も後進の指導に励み、技能継承、品質・コストの改善に優れた実績を上げ、同社へ多大な貢献をしている。

第 4 部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

澤田 秀夫 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

入社以来、鹿島製鐵所の圧延地区保全業務に従事している。新設備設置に伴う設備トラブル解決のため、長年の保全経験を活かして問題点を分析し、トラブルの多かったローラーの最適化の方法を発見するなど安定操業に大きく貢献した。また、保全ノウハウを反映させるため、所内のプロジェクトチームでシステム構築を行うとともに、圧延地区の安全稼働対策や技能伝承にも積極的に取り組んでいる。

林田 一正 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

厚板工場、熱延工場をはじめとした熱間圧延工場の機械保全業務および新規設備建設に長年従事してきた第一人者である。測定データや品質異常情報から設備の異常個所を特定する技能に優れ、重大な故障や異常を未然に防止し、工場の安定稼働に大きく貢献してきた。また、設備の弱点部位に着眼し、長寿命化やコスト削減といった改善活動も積極的に推進している。

大畠 栄治 新日鐵住金(株) 大分製鐵所

世界最大級の真空冶金設備（RH 設備）の点検・整備業務に長年従事し、設備の運転状況（圧力、音、振動等）から真空度異常の原因・箇所を素早く特定し、的確な修理方法を立案して必要最小限の修理で真空度異常を改善する優れた技能を有し、世界一の生産性、品質を達成するとともに、その維持に大きく貢献した。また、自身の技能を伝承する教室を開催し、後進の育成にも積極的に取り組んでいる。